

マドモアゼル・シネマ 2014旅するダンス 国内巡回公演

新宿フィールドミュージアム参加 

芸術文化振興基金助成事業 

赤い花・白い花、それから



2014年10月4日(土) 19:00

5日(日) 14:00 | 18:00

神楽坂セッションハウス

花は今年も咲きました。

2014年マドモアゼル・シネマ“旅するダンス”は、昨夏アヴィニョン演劇祭において、地元紙プロバンスに「日はずる国から来たエネルギーあふれるダンス」と高い評価を受けた『赤い花・白い花』の国内巡回公演を実施いたします。

ふるさとを持たない都会の住人が集まり創るダンスシアターを、本拠地東京を皮切りに和歌山、北海道に届け、ワークショップを通してより深く共有する舞台体験「アフターアクト」を行ないます。ダンスを仲立ちにしたつながりで“開かれたコミュニティ”を作り、地域との連携を強めて「現代の郷土芸能」の創出をこころみます。

超大風呂敷にマドモアゼルシネマ!を見よう。

38億年の生命を刻むゲノムを持つ彼女達。それは確かに真実で、今この時は終着点。しかし留まるところを知らず、先は見えない。「一は全、全は一」。38億年が集約されているのだ。悠久なる時の流れは全、「一」は彼女達。

思うのです。亡くなってしまった野和恵理花さんが刻み込んだ「一」も38億年の一部になったんだ。DNAは必ず繋がっていてまた先へと進んでゆくのだと。それぞれの身体を通して表れる38億年。目撃した喜びもまた繋がり39億年への「一」となる。「マドモアゼルシネマ」=「一」。それは全。

高橋正和(コンカリーニョ照明家)



振付 伊藤直子
出演 相原美紀
竹之下たまみ
佐々木さやか
佐藤郁
外園彩織
中島加奈子
鈴木加奈子

照明プラン 石関美穂
音響プラン 上田道宗
舞台監督 鍋島峻介
衣裳 原田松野・前島みち子
美術 くに若尾
記録映像 瀧島弘義
記録写真 伊藤孝
チラシ作成 石関美穂
チラシ写真 松岡伊都子・楠田健造
企画制作 伊藤孝
助成 芸術文化振興基金
主催 マドモアゼル・シネマ
共催 株式会社セッションハウス
協力 EU・ジャパンフェスト日本委員会
新宿フィールドミュージアム参加

2004年、ブルガリア国家宮放送にて『赤い花』30分の特別番組として放映。
2008年、伊藤直子「不思議な場所」演出振付が第63回文化庁芸術祭新人賞受賞。
2011年、ポーランド・グリフノ国際演劇祭、シッコハニエ2011で観客賞受賞。
2008年、シビウ国際演劇祭参加。2013年、アヴィニョン演劇祭参加。

マドモアゼル・シネマは、少女期の記憶の物語を紡ぐダンス集団です。東京神楽坂セッションハウスの劇場付舞踊団として1993年に設立。「女性達の現在を視覚化」した作品を国内外に届ける活動。旅するダンスを継続。仏、独、ブルガリア、オーストリア、ルーマニア、ポーランド、ポルトガル等、各地で公演活動を展開、重心の低い躍動的な動きと少女期の記憶を紡ぐダンスは、日本人の身体伝統を受け継ぐ現代のダンスとして高い評価を得ている。



外の巡回先

2014年10月4日(土)・5日(日)
神楽坂セッションハウス★

2014年10月25日(日)
生活支援型文化施設
コンカリーニョ(札幌)★



2014年10月12日(日)
和歌の浦アートキューブ★

訪れる町ごとに創るアフターアクト“それから”編。東京は7月ワークショップの参加者の中から二人を選出、本編の中に組み込みました。地元東京ならではの試みです。ツアー中はレギュラーの5人が、札幌ではダンサーたちと、和歌山では子ども達や一般の人とクリエイション。「旅するダンス」は見てよし！踊るもよし！を合言葉に町々を訪れます。

チケット

前売一般 3,000円 / 前売学生 2,500円
前売ペア券 5,500円 / 当日 3,500円
入場料割引「新宿フィールド・ミュージアム」オフィシャルガイドブック持参者割引(-200円)

セッションハウス
〒162-0805
東京都新宿区
矢来町158

路地裏の小劇場。
東京メトロ東西線神楽坂駅
1番出口から地上へ。

